

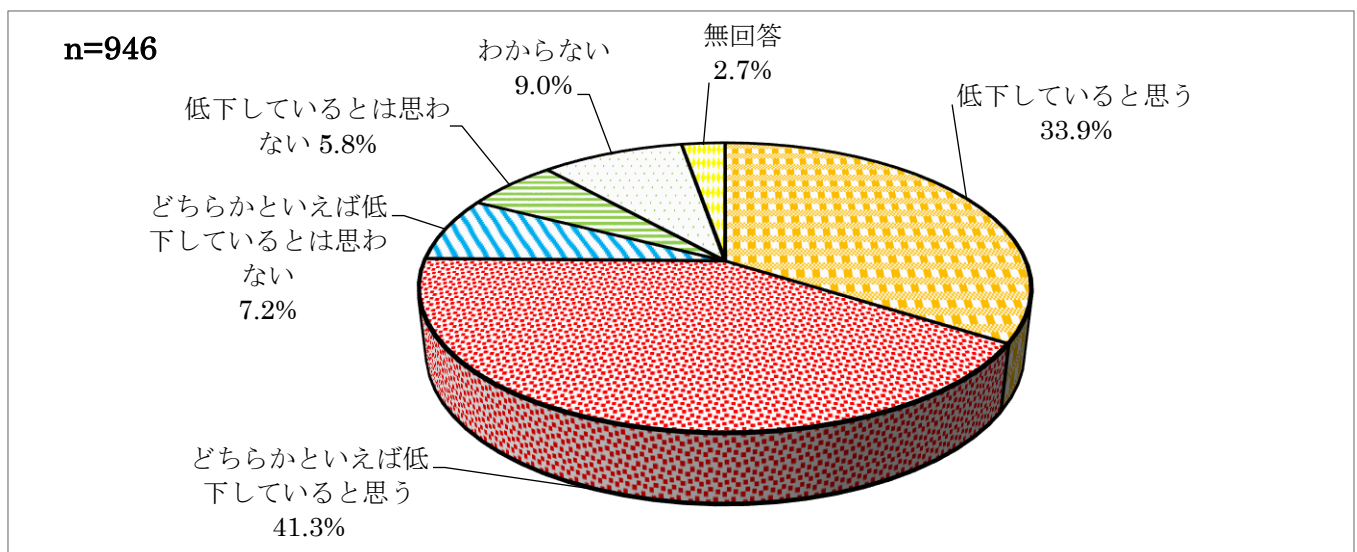
# ①家庭教育について

名古屋市では、子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶことを「親学（おやがく）」と位置づけ、「親学」関連事業を展開しています。今回の調査では、市民の皆さまに、家庭教育に対する考え方などをおたずねし、今後の事業運営の参考とさせていただきます。

※このアンケートでの「家庭の教育力」とは、家庭において親または保護者が、子どもに豊かな情報や基本的な生活習慣、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナー、自制心や自立心などを身につけさせるために行う教育力をいいます。

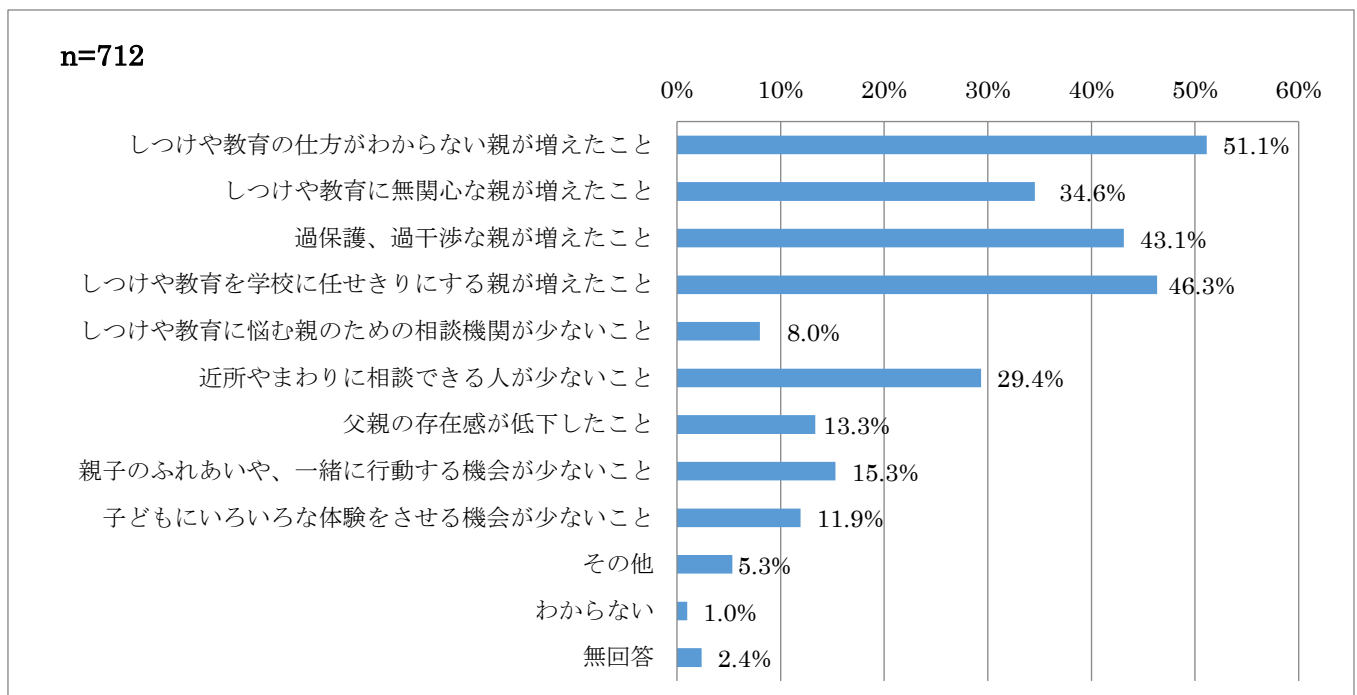
※各図表の「n」は、回答者数を表しています。

問1 あなたは、社会全体では家庭の教育力が低下していると思いますか。（○は1つだけ）



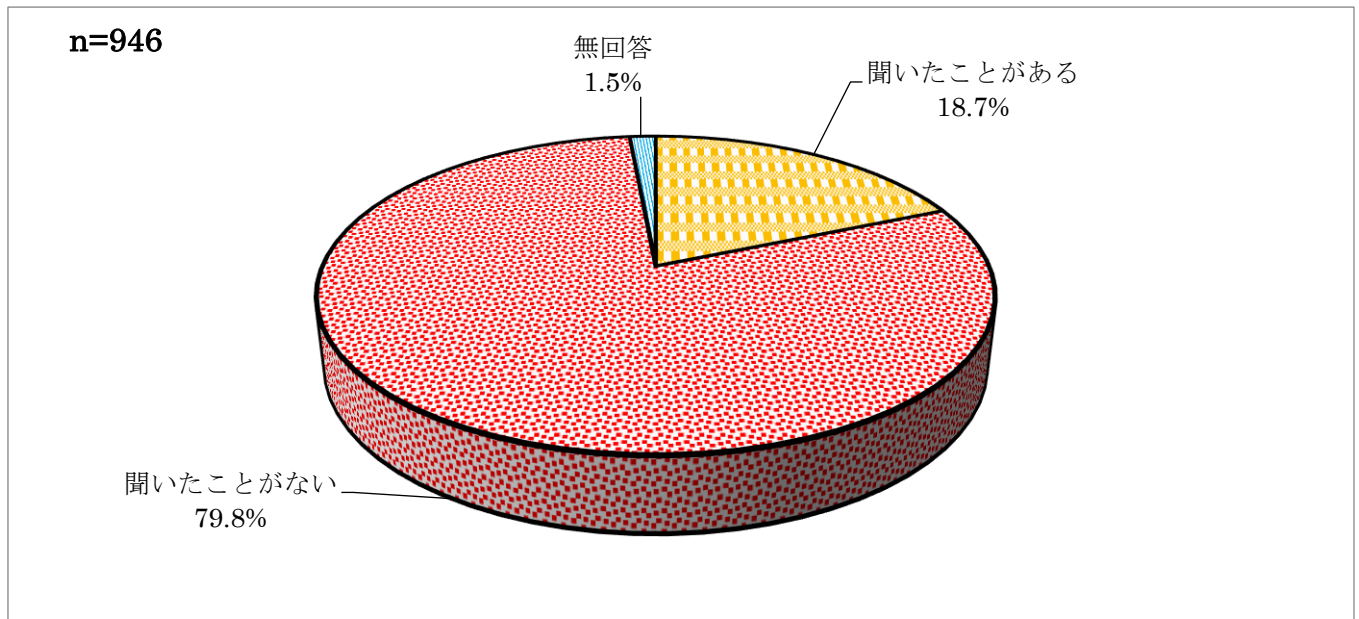
《問1で1～2と答えた方（家庭の教育力が低下していると思う方）におたずねします》

問2 あなたは、家庭の教育力の低下はどのようなことが原因だと思いますか。（○は3つまで）



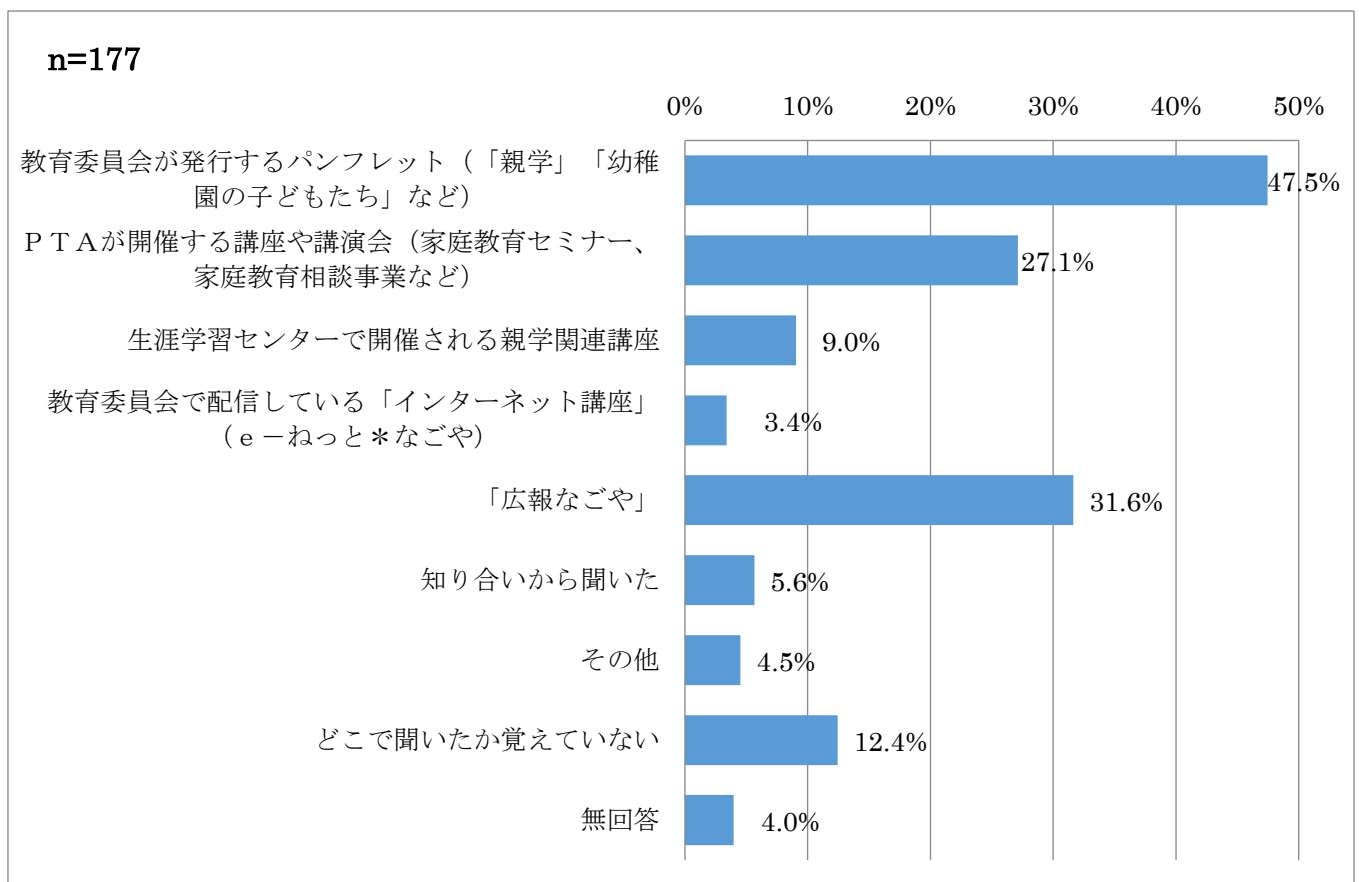
《すべての方におたずねします。》

問3 あなたは、名古屋市が提唱している「親学（おやがく）」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）



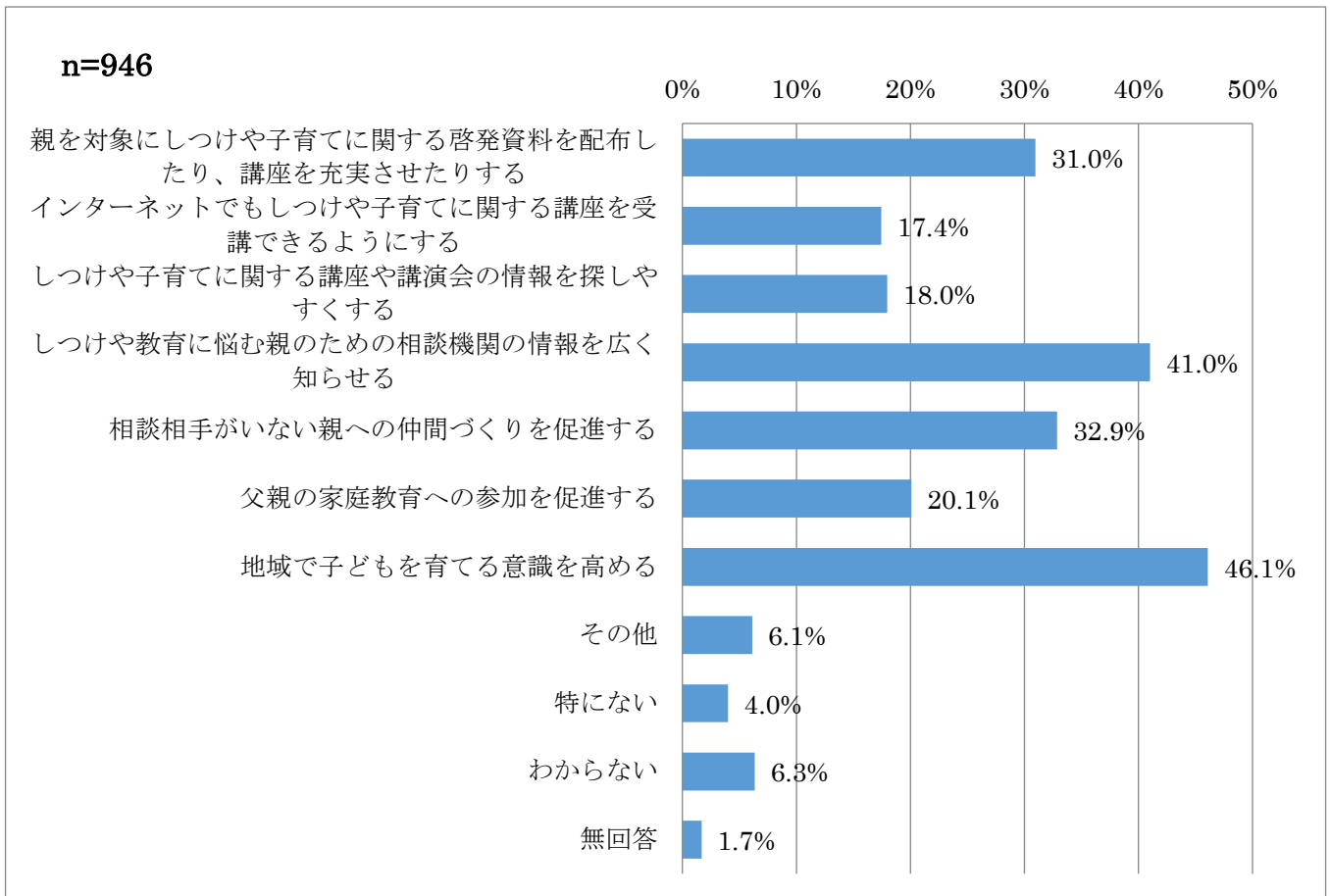
《問3で1と答えた方（「親学」という言葉を知っている方）におたずねします》

問4 あなたは、どこで「親学」という言葉を知りましたか。（○はいくつでも）



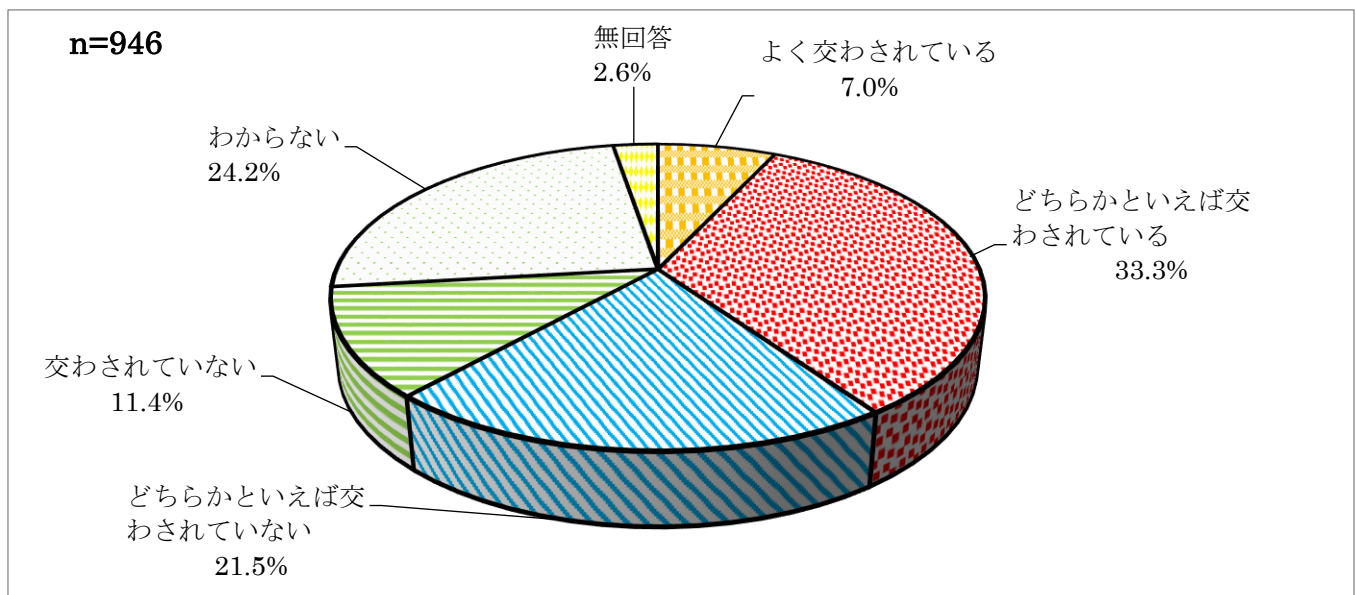
《すべての方におたずねします。》

問5 あなたは、家庭の教育力を向上させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○は3つまで)



教育委員会では、「親学」の一環として、地域や学校であいさつを通して、地域の大人と子どもとのつながりを深める活動を進めています。

問6 あなたのお住まいの地域では、子どもの登校時等にあいさつが交わされていると思いますか。(○は1つだけ)



問7 家庭教育についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・子と親の会話を持つことの大切さを知らせることが出来ると思います。私は子が一番話したいと思っている時に何も聞いてあげませんでした。大変な思いをさせてしまいました。子と話をすることを避けないことだと思います。
- ・私が子育てをしていた時と違い、今は携帯電話やインターネット等で子供だけの遊びが充実して、親が困惑している様な事もあると思います。しかし、子供はスキンシップを求めていると思うので、なるべく子供によりそい親は安心感を与えてあげて欲しいです。
- ・地域の人が、もっと子供に声を掛けると良い。私も、今後は近所の下校の子供を見たら、「おかえり～」と声を掛けることにします。
- ・核家族（2世代）が増え、祖父母との関わりが減っていることも家庭の教育力低下に繋がっていると思われる。祖父母世代との交流機会を増やすのも一つの方策かと思う。
- ・両親や祖父母などみんなで子供を育てる、あるいは協力していくことが大事。いろんな行事に参加することも大切。特に地域で行うものには親子で参加できたらいいと思う。いろんな話が聞けるので参考になる。

ほか